

令和 8 年 ミニ企画展

『記念館推しのイッピン 2』



⑧「海軍大将制服」
(令和8年5月号)

實が着用した海軍大将制服
大将の帽子とサーベル

【開催期間】 令和8年9月1日(火)～11月29日(日)

奥州市立斎藤實記念館

令和6年7月より「記念館推しのイッピン」と題し、当館が所蔵する書簡や扁額、衣服や装飾品、日用品など多くの貴重な資料の中から、「推しの品」としてピックアップし、ホームページにて毎月紹介しています。

この取り組みは、常設展、企画展では紹介しきれなかった資料をクローズアップし、紹介することを目的とし、スタートしたものです。今年度で3年目となり、内容に関する問い合わせ等も受け、皆の認知度が高くなっていると感じられるようになってきました。

本展は、昨年開催したミニ企画展「記念館推しのイッピン」の第2弾として、ホームページ上で取り上げた資料を展示し、実際に実物を見ることによって斎藤夫妻への理解を深める機会とするものです。

①「ビーズ製帯締め」（令和7年8月号）

令和7年8月号として紹介した「ビーズ製帯締め」。水色地に金色の模様が施されている。その見た目は涼しげで、夏の暑い時期に清涼感をもたらすような一品となっている。

残念ながら実際にこの帯締めを着用されたお姿は残されていないが、日本を代表するファーストレディとして、第30代内閣総理大臣という国の要となった夫を支えるようになってからは和服を多く着用するようになったという。



②「ジュネーブ海軍軍縮会議（令和8年6月号）」

同じく6月20日開催されたジュネーブ海軍軍縮会議にあわせ紹介。この紹介と同時期に、フランスエビアンにて2026G7サミット（6月15日から17日）が開催された。

春子を伴いジュネーブに渡った實は70歳という年齢であった。長旅による健康不安も抱えた中だったが、英語に堪能であり外国人とも多く親しんできた春子の存在は、良きパートナーとして無二の適任者であった。



奥州市出身大谷翔平選手所属のロサンゼルス・ドジャースが、昨年に引き続きワールドシリーズ2連覇を果たした11月。このニュースにちなみ、昭和2（1927）年實が主席全権として出席したスイス・ジュネーブでの海軍軍縮会議において、一時中断し、日米両国親善のための野球試合の一コマ。實が始球式を務めた。後列中央に實の姿がある。

③「實が始球式を行った親善野球試合」（令和7年11月号）

④「春子夫人が描いた墨絵」（令和7年9月号）

「芸術の秋」にちなみ、春子が描いた墨絵を紹介。

当館には春子が描いた墨絵が27点あり、笹竹、松など縁起物を題材とした作品も。

「ぶどう」「菊の花」といった秋ならではの作品を紹介した。

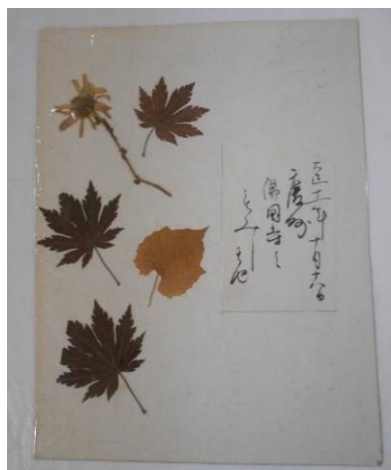
少女時代の春子は習字、生花、ピアノ、琴、踊りなど多くの稽古事に精を出し、墨絵を描くこともお手のものだったことだろう。



⑤「春子夫人特製押し葉」（令和7年10月号）

春子が作製した押し葉。秋が深まるこの時期にあわせ、紅葉シーズンと先月号に引き続き芸術の秋にちなみ紹介。様々な種類の葉を利用し作られている。

「大正10年10月18日慶州仏国寺…」とメモ書きがある作品は、實が朝鮮総督として赴任していた頃の作品と思われる。





⑥「長火鉢」(令和7年12月号)

この長火鉢は、新婚当時(明治25年)東京府東京市麻布区芝北新門前町(現・東京都港区東麻布)の新居(借家)において使用していたもの。

火鉢は奈良時代に登場したとされ、薪を燃やすのと違い、煙が出ないことから室内暖房として重宝されていた。

春子は岩手の地でも当時を懐かしみ、時々使用していた。

⑦「春子の夜着」(令和8年1月号)

年が明け、寒さ著しい季節に「夜着」を紹介。「夜着」とは、着物のような形をした大形の寝具のこと。掛け布団の一種で、袖と襟がついており、綿が厚く入っているため暖かいのが特徴。袖に手を通さず肩を包み込むような形で体にかかけ、長い襟によって隙間をつくらず暖かく寝ることができる。

寸法は、裾ふき 39 cm、袖口ふき 14 cm、袖口 64 cm、袖巾 46 cm、丈 195 cm。

生地には絹地の刺繍が施され、桐、笹の葉に小花のような取り合わせの紋様があしらわれている。岩手の厳しい寒さを凌いだ春子の様子が目に浮かぶ。



⑨「春子懷中物」

(令和8年7月号)

七夕の時期にあわせ、實と春子の仲睦まじいエピソードとともに紹介。春子は二・二六事件後、昭和20年(1945)3月に水沢に疎開。實が亡くなった26日の月命日には、休むことなく墓参に出向き好物を供えていた。

實を想い、4 cm×10 cmほどの大きさの絹製小袋の中に遺髪と實の写真を納められている。實亡きあとも共にありたいと願う春子の気持ちが感じられる。

<展示資料一覧>

No.	資 料 名	備 考
①	ビーズ製帯締め	令和7年8月号
②	ジュネーブ海軍軍縮会議	令和8年6月号
③	實が始球式を行った親善野球試合	令和7年11月号
④	春子夫人が描いた墨絵（5点）	令和7年9月号
⑤	春子夫人特製押し葉（5点）	令和7年10月号
⑥	長火鉢	令和7年12月号 旧宅常設
⑦	春子の夜着	令和8年1月号 旧宅常設
⑧	海軍大将制服	令和8年5月号 1階北側展示室常設
⑨	春子懷中物	令和8年7月号 1階南側展示室常設
⑩	滞日十年	令和8年2月号 企画展展示中
⑪	入間野武雄日記	令和8年4月号 企画展展示中
⑫	春子手記	令和8年3月号 企画展展示中

～MEMO～